

キマダラルリツバメ

Spindasis takanonis takanonis

兵庫県：B

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

前翅長12～18mm程度。翅の表面は♂では光沢のある青紫色、♀では黒褐色。裏面は黄白色で、銀色の細条を備えた黒褐色条との縞模様となる。後翅には細長い2本の尾状突起を備える。平地から山地の樹林に生息し、ハリブトシリアゲアリの巣に入ってアリから給餌を受ける。年1化性で、成虫は6月～7月に出現する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州

県内分布記録

西宮市、川西市、加古川市、西脇市、三木市、小野市、加西市、多可町、姫路市、たつの市、宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波篠山市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○		○	○		

特記事項

旧34市町に広く分布していたが、加西市以外の南部16市町では1980年代にほとんど見られなくなり、北部地域でも1990年代に急激に減少した。南部では神社の境内などの老木が、北部ではカンワの疎林などシリアゲアリが巣をつくる環境が減少したことにより個体数が減少した。

保護上の留意点